

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市シルバーセンター	
2 指定管理者	仙台市健康福祉事業団・東北共立グループ	
3 指定期間	令和5年4月1日～令和8年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和5年度 102,505人(前年度比 119.6%) 令和4年度 85,685人(前年度比 136.4%) 令和3年度 62,835人(前年度比 131.0%) 《事業》 相談事業 894人 福祉用具展示室 3,173人 市民向け介護講座 9講座 2,024人 1イベント 202人	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 297,975千円 (281,099千円) ・ その他市が負担した費用 424千円 (37,798千円) 《収入》 ・ 使用料収入 14,512千円 (16,821千円) ・ その他収入 223千円 (240千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 シルバーセンター1階に「市長への手紙」を設置している。利用者アンケートのコーナーを常に設けて、回答を掲示している。また、講座受講者に対してもアンケートを実施し、結果を事業内容に反映させている。	

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	シルバーセンターの設置目的を踏まえた基本方針に基づき施設運営がなされており、職員も設置目的を適切に理解している。また、豊齢社会の実現に向け、高齢者の健康増進維持や生きがいづくりに関する企画立案、施設の公平・公正な利用、福祉用具の展示などを始め、高齢者の視点に立った施設運営を行っている。	45/45
II 施設の運営管理体制	必要数の職員が配置されており、ミーティング等により施設利用予定や他の職員の業務状況を把握している。また、情報セキュリティへの対策としては、管理責任者を定めるとともに、職員への周知啓発を行うなど、個人情報保護に対する体制を整えている。市民利用施設予約システムの管理責任者を定め、システム使用職員を特定するとともに、異動等に際しては職員教育を実施し、情報セキュリティ対策を適切に講じている。施設使用上の事故発生に備え、連絡体制や職員の役割分担を定め、災害リスクについてもマニュアル策定等実施している。	30/30
III 施設・設備の維持管理	利用者の安全・安心・快適な利用を維持するため、建物等の保守点検や施設内外の清掃を適切に行い、事故防止のために、館内巡回も行われている。なお、当該施設は令和6年度から大規模改修の工事が予定されており、設備等の修繕や補修については、大規模改修を見据えて必要性を精査しながら実施した。	24/24
IV サービスの質の向上	利用者の意見や苦情を把握するため「市長への手紙」を窓口を設置しているほか、利用者アンケートを年1回以上行っている。 また、ホームページやリーフレット、情報誌発行などを通じて利用者への情報提供や施設のPRも積極的に行っているほか、貸出施設の見学や福祉用具展示室の団体見学に対応しており、適切な利用情報の提供を行っている。	28/28
V 施設固有の基準	施設の使用許可や使用料の徴収・還付などを仙台市の条例や規則等に基づき適正に実施している。 また、プールの管理について日常的な衛生管理のほか、定期的な水質検査が行われている。浴場については漏水のため休止しているが、大規模改修工事において対応を行う予定としている。 次年度以降のシルバーセンター大規模改修工事を見据え、商業施設などと協働しアウトリーチ事業の推進を行うことで、高齢者の生きがいづくり・健康づくりの支援を積極的に行っている。	27/26

三 評価総括

《指定管理者（仙台市健康福祉事業団・東北共立グループ）による自己評価》
<p>【施設管理運営について】 施設保全のため、施設巡回、設備の定期保守点検、建物と敷地内の清掃を適切に行った。建物や設備の老朽化によって生じる設備の不具合（空調設備の故障、プール漏水、防災設備の動作不良等）に対し、施設利用者の安全性、快適性を維持するため、修繕対応を計画的に実施した。</p> <p>【総合相談センターについて】 多様化・複雑化する高齢者やその家族が抱える悩みに対し、置かれた状況や訴えに寄り添い傾聴と各種支援制度や窓口機関の紹介など情報提供を行った。</p> <p>【介護研修・福祉用具展示について】 市民向け介護講座や介護職員向け研修、福祉用具の展示を通して、介護や福祉用具の理解促進に努めた。働いている方が参加しやすいように曜日や時間帯に配慮して講座を企画したり、シルバーセンターへの来館が難しい方も参加しやすいように地域で講座を開催するなど、受講者の利便性を考慮した事業展開を行った。また、アウトリーチ事業の一環として、学校向け介護体験講座の充実に取り組んだ。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和5年度の管理運営は、協定書及び仕様書に従い適切・良好に行われた。開館から30年以上が経過し、年々建物及び設備の老朽化が進行している中、突発的な修繕業務にも迅速に対応し、且つ利用者の安全確保にも適切に努めながら、事故等なく管理運営が行われた。</p> <p>施設内における事業の実施や貸館事業についても、利用人数は前年度と比較して増加しており、高齢者の健康福祉の増進に寄与した。</p> <p>市民向け介護講座や介護職員向け研修、福祉用具の展示を通して、介護や福祉用具の理解促進に取り組んだ。また、令和6年度からの大規模改修工事に伴う休館期間を見据えたアウトリーチ事業を展開し、商業施設と協働し健康づくり、生きがいづくりの周知啓発活動を行った。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局保険高齢部高齢企画課